

**ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社傘下のミローバ社が  
運用するエネルギー移行ファンドへの投資について**

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、ESG 投融資の一環として、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社が設定する「インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド 2022（適格機関投資家専用）」（以下「本ファンド」）を通じ、ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社傘下でサステナブル投資に特化した投資を行うミローバ社（以下「ミローバ」）が運用するエネルギー移行ファンドへの投資を開始しましたので、お知らせいたします。

**<本ファンド設定の背景>**

本ファンドは、再生可能エネルギーによる電力事業及び低炭素社会の実現に役立つプロジェクトなどへの投資を通じて、脱炭素化に向けたエネルギー移行への貢献を図ります。ミローバのエネルギー移行ファンドは、再生可能エネルギー市場が強く注目され始める以前の 2002 年から再生可能エネルギー事業への投資を行っており、本ファンドを通じ、エネルギー移行ファンドに投資することにより、風力、太陽光、水力、バイオマスを使った発電事業の他、蓄電設備、水素、次世代交通等のプロジェクトへの投資を行う予定です。

**【本ファンドの概要】**

|           |  |
|-----------|--|
| フ ァ ン ド 名 | インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド 2022（適格機関投資家専用） |
| 運 用 会 社   | 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社                   |
| 出 資 金 額   | 30 百万ユーロ（約 41 億円）                      |
| 投 資 対 象   | ミローバが運用するエネルギー移行ファンドを組入れたファンド・オブ・ファンズ  |

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、資産運用面においてもグリーンボンドや太陽光発電事業を中心とした再生可能エネルギー分野等への投融資を行ってまいりました。

今後もESG投融資を一層推進してまいります。

<ミローバ社について>

ミローバは、サステナブル投資に特化した運用会社であり、気候変動報告への取り組みを先導していることが評価され、2020年にPRIが選出したPRIリーダーズ・グループにも選出されました。

【ミローバ社の概要】

|         |  |
|---------|--|
| 会 社 名   | ミローバ   |
| 従 業 員 数 | 143名 (2021年12月末)   |
| 運用資産残高  | 約326億米ドル (2021年12月末)<br>運用資産の内訳：株式72%、債券17%、エネルギー移行ファンド8%、自然資本2%、その他1% |
| そ の 他   | ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社の100%子会社                                       |

【ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社の概要】

|         |  |
|---------|--|
| 会 社 名   | ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ                            |
| 従 業 員 数 | 4,226名 (2021年12月末)                                 |
| 運用資産残高  | 約1.4兆米ドル (2021年12月末)<br>運用資産の内訳：債券53%、株式35%、その他12% |
| そ の 他   | ナティクシスの100%子会社                                     |

以 上